



(第 10 図)

(7) 飛騨国絵図 (第 10 図)

年代 元禄 8 年(1695)

寸法 89×107

所蔵 飛騨高山高等学校

第 10 図は元禄 8 年(1695)に作製された国絵図で、奥書に「飛州大野郡灘郷西一色村 松泰寺 元禄八乙亥歳三月日」とある。凡例に白色が益田郡、水色が大野郡、橙色が吉城郡とあり、口番所、旅館、古城、川、橋、山が記されている。

また、郷と村数

「飛騨國三郡 郷数貳拾四郷 内九郷益田郡 同九郷大野郡 同六郷吉城郡

村数四百拾三箇村 内百箇村益田郡 同百廿三ヶ村大野郡 同百八拾ヶ村 吉城郡内下山栗屋谷三ヶ村 亡所」も端書に記入されている。

在所、街道、河川等の絵図の内容は金森時代のものと考えられ、正保絵図(第 7～9 図)が元になったと思われる。

各所の「渡し」場所には、「舟渡・カチワタシ」の記述が記載され、金山、銀山の記載、口番所が記されている。また、美濃国武儀郡金山村、同郡桐原(切原)村、沓部(くつべ)村など郡上郡8カ村が記されている。

※掲載されている情報（文章、写真など）は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。